

注3

大学番号：私158

[平成21年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

駒沢女子大学 人間健康学部 健康栄養学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 駒澤学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学短大事務部教務課

職名・氏名 カチヨウ ヤシ カズノリ
課長 矢尻 和範

電話番号 042-350-7111

（夜間） 042-331-1911

F A X 042-350-7112

e-mail daigaku@komajo.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況，経費	9
4	既設大学等の状況	10
5	教員組織の状況	11
6	留意事項に対する履行状況等	15
7	その他全般的事項	16
8	添付資料（駒沢女子大学点検・評価・改善委員会規程）	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 駒 澤 学 園

(2) 大学名

駒 沢 女 子 大 学

(3) 大学の位置

〒206-8511
東京都稲城市坂浜238番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナガオ ミチユキ) 長 尾 通 之 (平成21年4月)	(カツラギ テンカイ) 葛 城 天 快 (平成22年6月)	平成22年6月理事長交代により変更 (23)
学 長	(トダ ヒロキ) 戸 田 洋 樹 (平成21年4月)	(ミツダ マサヨシ) 光 田 督 良 (平成23年4月)	平成23年4月学長交代により変更 (23)
学 部 長	(シバヤマ マサハル) 芝 山 正 治 (平成21年4月)	(ニシヤマ イチロウ) 西 山 一 朗 (平成21年4月)	平成21年3月芝山正治教授が学部長就任辞退により変更 (21)
学 科 長 等	(カワノ セイコ) 川 野 誠 子 (平成21年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成21年度開設の4年制の学科の場合（平成24年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間健康学部 健康栄養学科 学士（健康栄養）	4年	80人	— 年次人	320人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	80 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	0.94倍	
志願者数	97 (—) [—]	— (—) [—]	372 (—) [—]	— (—) [—]	484 (—) [—]	— (—) [—]	398 (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	92 (—) [—]	— (—) [—]	362 (—) [—]	— (—) [—]	472 (—) [—]	— (—) [—]	386 (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	86 (—) [—]	— (—) [—]	119 (—) [—]	— (—) [—]	132 (—) [—]	— (—) [—]	133 (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	56 (—) [—]	— (—) [—]	80 (—) [—]	— (—) [—]	83 (—) [—]	— (—) [—]	84 (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	0.70		1.00		1.03		1.05			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 56	[-] -	[-] 80	[-] -	[-] 83	[-] -	[-] 84	[-] -	
2年次	/		[-] 56	[-] -	[-] 77	[-] -	[-] 83	[-] -	
3年次			/		/		[-] 56	[-] -	[-] 77
4年次	/						/		[-] 54
計			[-] 56	[-] 136	[-] 216	[-] 298			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	56 人	2 人	平成21年度	人	人	学生個人の心身に関する事情(1人) 進路変更(1人)	3.6 %
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	2 人	0 人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	80 人	3 人	平成22年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、学力不足(1人) 家庭の事情(1人)	3.8 %
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	83 人	0 人	平成23年度	人	人		0.0 %
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	84 人	0 人	平成24年度	人	人		0.0 %
合 計	303 人	5 人					1.7 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間健康学部 健康栄養学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				備考
			必修	選択	自由	自由	教授	准教授	講師	助教	
教養科目	仏教学Ⅰ	1前	2								
	仏教学Ⅱ	1後	2								
	日本文学	1・2・3・4前		2							
	外国文学	1・2・3・4後		2							
	日本史	1・2・3・4前		2							
	西洋文化史	1・2・3・4後		2							
	心理学Ⅰ	1・2・3・4前	2								
	心理学Ⅱ	1・2・3・4後	2								
	人間学Ⅰ	1・2・3・4前		2		1					
	人間学Ⅱ	1・2・3・4後		2		1					
	倫理学	1・2・3・4前		2		1					
	社会学Ⅰ	1・2・3・4前		2							
	社会学Ⅱ	1・2・3・4後		2							
	政治学Ⅰ	1・2・3・4前		2							
	政治学Ⅱ	1・2・3・4後		2							
	法学	1・2・3・4後		2							
	生物学Ⅰ	1前		2							
	生物学Ⅱ	1後		2							
	化学Ⅰ	1前		2							
	化学Ⅱ	1後		2							
	統計の基礎	1・2前		2							
	統計の応用	1・2後		2							
小計 (22 科目)			8	36	0	1	0	0	0	0	
臨床心理関連科目	臨床心理学Ⅰ	1・2前	2								
	臨床心理学Ⅱ	1・2後	2								
	臨床心理学Ⅲ	3・4前		2							
	臨床心理学Ⅳ	3・4後		2							
	小計 (4 科目)		4	4	0	0	0	0	0	0	
情報科学科目	情報処理	1・2後		2		1					
	コンピュータ演習Ⅰ	1・2前	1			1					
	コンピュータ演習Ⅱ	1・2後		1		1					
	小計 (3 科目)		1	3	0	1	0	0	0	0	
外国語科目	英語Ⅰ	1前	1			1					
	英語Ⅱ	1後	1			1					
	英語Ⅲ	2前	1			1					
	英語Ⅳ	2後	1			1					
	基礎ドイツ語Ⅰ	1・2・3・4前		1							
	基礎ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4後		1							
	基礎フランス語Ⅱ	1・2・3・4後		1							
	小計 (8 科目)		4	4	0	1	0	0	0	0	
体育科目	スポーツⅠ	1・2・3・4前	1			1					
	スポーツⅡ	1・2・3・4後	1			1					
	スポーツⅢ	2・3・4前		1		1					
	小計 (3 科目)		2	1	0	1	0	0	0	0	
基礎ゼミ	基礎ゼミⅠ	1前	1				3	2	1		
	基礎ゼミⅡ	1後	1				3	2	1		
	小計 (2 科目)		2	0	0	0	3	2	1	0	
小計 (42 科目)		21	48	0	4	3	2	1	0		

担当者「三浦麻子」「曾我部夏子」
自己都合により担当者減(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	社会福祉概論	3前	2								
	介護福祉概論	4前		2							
	保健医療福祉論	4前		2							
	公衆衛生学Ⅰ	3前	2								
	公衆衛生学Ⅱ	3後	2								
	健康管理概論	1・2前		2							
	小計(6科目)		6	6	0	0	0	0	0	0	
	生化学Ⅰ	2前	2			1					
	生化学Ⅱ	2後	2			1					
	生化学実験Ⅰ	2後	1			1				1	
	生化学実験Ⅱ	3前	1			1				1	
	解剖生理学	1後	2			2					
	解剖生理学実験	2前	1			2				2	
	栄養生理学	3前	2					1			
	栄養生理学実験	3後	1					1		1	
	微生物学	2前	2								
	病理学	2前	2			2					
	運動生理学	4前	2			1					
	臨床医学論	2後		2		1					
	小計(12科目)			18	2	0	4	0	1	0	5
	食品学Ⅰ	1前	2			1					
	食品学Ⅱ	1後	2			1					
	食品学実験Ⅰ	2前	1			1				1	
	食品学実験Ⅱ	2後	1			1				1	
	食品学実験Ⅲ	3前		1		1				1	
	食品衛生学	2後	2								
	食品衛生学実験	3前	1							1	
	食品加工学	3前		2							
	食品開発論	4前		2							
	食品バイオテクノロジー	4前		2							
	調理学	1前	2								
	調理学実験	3前	1						1	1	
調理学実習Ⅰ	1後	1				1			1		
調理学実習Ⅱ	2前	1				1			1		
小計(14科目)			14	7	0	1	1	0	1	5	
小計(32科目)			38	15	0	5	1	1	1	3	
専門科目	基礎栄養学	1後	2					1			
	基礎栄養学実習	2前	1					1		1	
	小計(2科目)		3	0	0	0	0	1	0	1	
	応用栄養学Ⅰ(母性・小児期)	2後	2					1			
	応用栄養学Ⅱ(成人期)	3前	2					1			
	応用栄養学Ⅲ(高齢期)	3後	2								
	応用栄養学実習	3後	1					1		1	
	スポーツ栄養学	4前		2							
	食介護論	4前		2							
	小計(6科目)		7	4	0	0	0	1	0	1	
	栄養教育論Ⅰ	2後	2				1				
栄養教育論Ⅱ	3前	2				1					
栄養教育論Ⅲ	3後	2				1					
栄養教育論実習Ⅰ	3前	1				1			1		
栄養教育論実習Ⅱ	3後	1							1		
カウンセリング論	4前	2									
小計(6科目)		10	0	0	0	1	0	0	2		

履修希望者がいなかったため(24)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	臨床栄養学概論Ⅰ	2前	2				1					「韓 順子」准教授へ昇格(24) ※1 平成23年8月教員審査済 判定：可
	臨床栄養学概論Ⅱ	2後	2				1					
	臨床栄養学Ⅰ	3前	2									
	臨床栄養学Ⅱ	3後	2									
	臨床栄養学実習Ⅰ	3前	1				1				1	
	臨床栄養学実習Ⅱ	3後	1				1				1	
	栄養食事療法実習	3後		1							1	
	小計(7科目)		10	1	0	0	1	0	0	0	3	
	公衆栄養学Ⅰ	3前	2				1					
	公衆栄養学Ⅱ	3後	2				1					
	公衆栄養学実習	4前	1				1				1	
	小計(3科目)		5	0	0	1	0	0	0	0	1	
	給食経営管理論Ⅰ	2前	2				1	↓				
	給食経営管理論Ⅱ	2後	2				1	↓				
	給食経営管理論実習	2後	1				1	↓			2	
	給食計画論演習	2前		1			1				1	
	小計(4科目)		5	1	0	0	1	1	0	0	3	
	総合演習Ⅰ	4前	1				4	5 ↓ 2 ↓	3	1		
	総合演習Ⅱ	4後	1				4	5 ↓ 2 ↓	3	1		
	小計(2科目)		2	0	0	4	4	3	1	0		
	臨地実習Ⅰ	3前	2				2 ↓	0 ↓	1	5		
	臨地実習Ⅱ	3後	2				1		1	5		
	臨地実習Ⅲ	4前		2			1	1	1	5		
	小計(3科目)		4	2	0	0	3	2	1	5		
	卒業研究	4通		2			4	2 ↓ 1 ↓	3	1		
	小計(1科目)		0	2	0	4	1	3	1	0		
	フードスペシャリスト論	2後		2				1				
フードコーディネータ論	2後		2									
官能評価論	3前		2									
食品流通論	3前		2									
小計(4科目)		0	8	0	0	1	0	0	0			
小計(38科目)		46	18	0	4	4	3	1	5			
小計(70科目)		84	33	0	6	6	3	1	5			
合計(112科目)		105	81	0	9	4	3	1	6	5 助手5を6に誤りを修正(24)		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	変更なし (ただし、選択科目「食品学実験Ⅲ」は平成24年度は履修者0名のため開講せず。)
67	45	0	112	67	45	0	112	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地の一部及び運動 場用地は、駒沢女子 短期大学と共用。					
	校 舎 敷 地	0 m ²	111,608 m ²	0 m ²	111,608 m ²						
	運 動 場 用 地	0 m ²	28,403 m ²	0 m ²	28,403 m ²						
	小 計	0 m ²	140,011 m ²	0 m ²	140,011 m ²						
	そ の 他	0 m ²	66,331 m ²	0 m ²	66,331 m ²						
	合 計	0 m ²	206,342 m ²	0 m ²	206,342 m ²						
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎の一部は駒沢女子 短期大学と共用。					
		3,257 m ² (3,257 m ²)	20,535 m ² (20,353 m ²)	7,740 m ² (7,740 m ²)	31,352 m ² (31,352 m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	25室	演 習 室	25室	実験実習室	15室	情報処理学習施設	8室 (補助職員 0人)	語学学習施設	1室 (補助職員 0人)	大学全体
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			新設学部全体		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本				
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル							
		冊	種	〔うち外国書〕							
人間健康学部	7,400 [1,600] (8,073 [1,408])	44 [27] (39 [19])	3 [3] (2 [2])	66 (169)	1,720 (1,983)	17 (17)	新設学部全体				
計	7,400 [1,600] (8,073 [1,408])	44 [27] (39 [19])	3 [3] (2 [2])	66 (169)	1,720 (1,983)	17 (17)					
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		閲覧座席数 1席増加 (24)				
	4,889 m ²		325 324		293,140 237,000		収納可能冊数 平成21年10月増加が反映 されていなかったため修正 (24)				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要								
	1,726 m ²		テニスコート3面								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	新設学部全体			
	教員1人当たり研究費等	360千円	360千円	図書購入費	20,000千円	6,239千円	6,239千円				
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	209,316千円	1,269千円	1,269千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	1,400千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	—千円	—千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、資産運用収入、雑収入 等									

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

5 教員組織の状況

<人間健康学部 健康栄養学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	戸田 洋樹	平成21年4月	人間学Ⅰ 人間学Ⅱ 倫理学						
専	教授	芝山 正治	平成21年4月	スポーツⅠ スポーツⅡ スポーツⅢ 運動生理学 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	川野 誠子	平成21年4月	解剖生理学 解剖生理学実験 病理学						
専	教授	佐藤 加代子	平成21年4月	公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	鈴木 賢司	平成21年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ						
専	教授	下橋 淳子	平成21年4月	食品学Ⅰ 食品学Ⅱ 食品学実験Ⅰ 食品学実験Ⅱ 食品学実験Ⅲ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	末木 俊之	平成21年4月	情報処理 コンピュータ演習Ⅰ コンピュータ演習Ⅱ						
専	教授	西山 一朗	平成21年4月	生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実験Ⅰ 生化学実験Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	佐藤 勝重	平成21年4月	解剖生理学 解剖生理学実験 病理学 臨床医学論						
専	准教授	太田 信子	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 調理学実習Ⅰ 調理学実習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ フードスペシャリスト論 臨地実習Ⅲ						
専	准教授	篠原 能子	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 給食計画論演習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 臨地実習Ⅰ						

専	准教授	高橋 史江	平成21年4月	栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論Ⅲ 栄養教育論実習Ⅰ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究							
専	准教授	田中 弥生	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 臨床栄養学概論Ⅰ 臨床栄養学概論Ⅱ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 臨地実習Ⅱ							
専	講師	韓 順子	平成21年4月	給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理論実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨地実習Ⅰ							
専	講師	三浦 麻子	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 応用栄養学Ⅰ (母性・小児期) 応用栄養学Ⅱ (成人期) 応用栄養学実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨地実習Ⅲ	兼任	講師	真鍋 祐之	平成22年9月	応用栄養学Ⅰ (母性・小児期) 応用栄養学Ⅱ (成人期)	平成22年9月三浦麻子先生の自己都合による担当の変更(23)	
					兼任	講師	川名 伸二	平成23年4月	応用栄養学Ⅰ (母性・小児期) 応用栄養学Ⅱ (成人期)	平成23年3月三浦麻子先生の自己都合による担当の変更(23) 平成24年4月変更事由解消により平成24年度から三浦麻子講師が担当(24)	
					兼任	講師	目加田 優子	平成23年4月	応用栄養学実習	平成23年3月三浦麻子先生の自己都合による担当の変更(23) 平成24年4月変更事由解消により平成24年度から三浦麻子講師が担当(24)	
専	講師	曾我部(塚越) 夏子	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 栄養生理学 栄養生理学実験 基礎栄養学 基礎栄養学実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究	兼任	講師	山岸 博之	平成23年9月	栄養生理学実験	平成23年9月曾我部夏子講師の自己都合により平成23年度後期のみ担当者変更(24) 平成24年4月変更事由解消により平成24年度から曾我部夏子講師が担当(24)	
専	助教	松森 慎悟	平成21年4月	基礎ゼミⅠ 基礎ゼミⅡ 調理学実験 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 卒業研究 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ							
兼任	教授	藤田 啓子	平成21年4月	西洋文化史							
兼任	教授	糟谷 恵次	平成21年4月	外国文学 基礎ドイツ語Ⅰ 基礎ドイツ語Ⅱ							
兼任	教授	倉本 一宏	平成21年4月	日本史	兼任	講師	下川 雅弘	平成21年4月	日本史	平成21年3月倉本一宏教授就任辞退による担当の変更(21)	
兼任	准教授	福王 守	平成21年4月	法学							
兼任	講師	松岡 努	平成21年4月	臨床心理学Ⅰ 臨床心理学Ⅳ							
兼任	講師	藤川 麗	平成21年4月	臨床心理学Ⅱ 臨床心理学Ⅲ	兼任 兼任	講師	藤代 有美子	平成23年4月	臨床心理学Ⅱ	平成23年4月藤川麗先生就任辞退による担当の変更(23) 兼任を兼任に誤りを修正(24)	
兼任	講師	久野 譜也	平成21年4月	健康管理概論	兼任	講師	澤田 亨	平成24年4月	健康管理概論	平成24年4月久野譜也講師自己都合による担当の変更(24)	
兼任	講師	寺本 あい	平成21年4月	調理学 官能評価論							
兼任	講師	吉野 菜穂子	平成21年4月	心理学Ⅰ 心理学Ⅱ カウンセリング論							

(3) 専任教員辞任等の理由 「該当なし」

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (20年11月)	校舎が駒沢女子短期大学と共用であるので、教育研究に支障のないようにすること。	短期大学と十分な連携を保ちながら時間割作成、教場決定を行い、また、実験用機器類を使用することにより、教育研究への支障を生じないように配慮した。	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (22年2月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	該当なし	該当なし	該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<人間健康学部 健康栄養学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 駒沢女子大学点検・評価・改善委員会が設置されており、本学部からは3名の委員が選出されている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成23年4月21日に開催され、全学13名の委員全員が出席した。 平成23年5月19日に開催され、全学13名の委員のうち11名が出席した。 平成23年7月21日に開催され、全学13名の委員のうち11名が出席した。 平成23年9月29日に開催され、全学13名の委員のうち10名が出席した。 平成23年10月20日に開催され、全学13名の委員のうち10名が出席した。 平成23年11月17日に開催され、全学13名の委員のうち11名が出席した。 平成23年12月15日に開催され、全学13名の委員のうち10名が出席した。</p> <p>c 委員会の審議事項等 平成23年4月21日： 委員長、書記などの選出、平成22年度の活動報告、平成23年度の活動計画など 平成23年5月19日： 大学全体としての平成23年度前期FD研修会の実施方法および内容の検討、平成24年度の認証評価に向けての点検評価報告書の作成についての検討など 平成23年7月21日： 点検評価報告書作成の進捗状況ならびに今後の計画の報告、大学全体での平成23年度前期FD研修会実施方法の詳細に関する検討、学内公開授業の実施に関する検討など 平成23年9月29日： 学内公開授業の企画と、これに関する教員へのアンケート内容の検討 平成23年10月20日： 平成23年度前期FD研修会の報告と反省、平成23年度後期FD研修会の実施方法ならびに内容の検討など 平成23年11月17日： 教員の研究・教育活動の成果に応じて研究費を配分するための「研究費傾斜配分」を行うための基準についての検討 平成23年12月15日： 平成23年度後期FD研修会の実施方法と内容の詳細な検討、平成24年度の認証評価に向けての準備の進捗状況と今後の予定に関する報告</p>

② 実施状況

a 実施内容

- (1) 初年次教育における学修ポートフォリオの有効な活用法に関する検討
- (2) 入学前教育プログラムのあり方に関する検討会
- (3) 初年次基礎学力テストのあり方に関する検討会
- (4) 全学的FD研修会（前期および後期）
- (5) 外部講師による研修会
- (6) 学内公開授業
- (7) カリキュラム連絡会

b 実施方法

- (1) 基礎ゼミ担当教員を中心とした検討会（学部内）
- (2) 学習支援センターによる現状の報告を受けての検討会（全学的）
- (3) 学習支援センターによる現状の報告を受けての検討会（全学的）
- (4) 複数の教員による教育方法の工夫の発表と検討会（全学的）
- (5) 外部講師（義本博司氏）による講演「私立大学と今後の展望について」（全学的）
- (6) 学内教員による授業の相互参観と意見交換（全学的）
- (7) 兼任講師も交えての教育の連携や教育方法に関する検討会（学部内）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- (1) 平成23年5月12日、専任教員7名出席
- (2) 平成23年5月16日、専任教員17名（内4名が人間健康学部教員）出席
- (3) 平成23年6月23日、専任教員32名（内7名が人間健康学部教員）出席
- (4) 平成23年7月28日、専任教員59名（内8名が人間健康学部教員）出席
平成24年2月9日、専任教員57名（内10名が人間健康学部教員）出席
- (5) 平成23年11月17日、専任教員82名（内16名が人間健康学部教員）および専任職員25名出席
- (6) 平成23年11月25日～12月22日までの4週間、大学全体としては64科目を公開した。その内、人間健康学部では、「臨床心理学Ⅱ」、「コンピュータ演習Ⅱ」、「スポーツⅡ」、「解剖生理学」、「生化学Ⅱ」、「食品学Ⅱ」、「臨床栄養学実習Ⅱ」および「給食経営管理論実習」の8科目を公開した。参観者人数は大学全体で延べ32名（内5名が人間健康学部教員）。
- (7) 平成24年3月22日、人間健康学部専任教員22名と兼任教員2名が出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

上記(1)～(3)の取組みにより、入学前教育と入学後の初年次教育とを連動させて、生物や化学、数学などの基礎学力が不足している学生に対する効果的なリメディアル教育を行うよう工夫した。このときに、学修ポートフォリオを併用して、学生自身に自らの到達目標をもたせることによって、より効果を上げるよう試みている。

(4)および(5)については、他の教員による教育方法の工夫や私立大学の現状について情報交換を行っている段階である。この取り組みは、今後も継続していくことにより、有効な教育改善につながるものと考えられる。

(6)の授業公開では、参観した教員が感想や質問などを所定の用紙に記載し、授業担当者に提出している。この取り組みにより、授業担当者は自分の授業に対する客観的な意見を得ることができ、一方、参観者は自分の授業に取り入れることが可能な新たな授業の手法を見出すことができた。

(7)の取り組みは、相互に関連のある授業科目を担当する教員同士が連携して、全体的な教育効果を上げようとするものである。それぞれの教員が教える内容や連携を確認し、また、教育方法についての情報交換を行う上で、大変有効であった。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全学的に実施している。前期は7月11日～7月16日、後期は1月10日～1月16日の授業時間内で、全ての科目を対象として実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

専任教員が担当するすべての科目について、アンケート結果ならびに科目担当教員による自己評価報告書を、図書館で公開している。公開対象はすべての教員および学生であり、図書館での閲覧が可能である。一方、兼任教員が担当する科目については、担当教員の任意で図書館での公開が可能である。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 本学部の目的の一つとして、「栄養学」や「食品学」等の食に関する健康の維持・増進に関わる分野や食における健康管理の分野においての専門性を有するとともに、幅広い教養を身につけ、状況に応じて諸問題に対処のできる応用能力を具えた、人間性豊かな人材の育成を掲げている。

健康の維持・増進や健康管理等の専門教育については、前年度に引き続き、設置計画に基づくすべての専門基礎科目ならびに専門科目を計画通り開講することにより達成している。一部の科目では、やむを得ぬ理由により担当教員の変更が生じたが、その場合でも代替教員候補者に個人調書の提出を求め、その教育歴や研究業績等を慎重に検討し人選を行うことにより、教育の質を保つよう努めている。また、上記(2)に記すとおり各種FD活動を行うとともに、専門科目を担当する専任教員ならびに兼任教員の連携も日常的に行っており、教育内容や教育方法の充実を図っている。

上記の教育成果については、以下の2件の客観的根拠より、ほぼ良好な成果が上がっていることが示唆されている。

- (1) 平成23年度に実施した3年次必修の学外実習である「臨地実習」において、履修した52人のうち50人(96%)の学生が、実習受入れ先から「普通」以上の良好な評価を得た。その中でも9人(17%)の学生は最高評価の「良い」を得た。
- (2) 平成23年12月に3年生を対象として実施した全国栄養士養成施設協会主催の栄養士実力認定試験の結果、受験者50人のうち35人(70%)が評価A(栄養士として必要な知識・技能に優れている)、13人(26%)が評価B(栄養士としての知識・技能を修得しているが、なおいっそうの資質の向上が期待される)を得た。

一方、幅広い教養を身につけさせる目的のためには、それぞれの学年ごとに年度始めに行っているオリエンテーションにより、教養教育科目を偏りなく履修させるよう個別指導を行っている。また新入生に対しては、このオリエンテーションによる指導に加えて、初年度導入教育科目である「基礎ゼミⅠ」によっても、教養教育科目を偏りなく履修させるよう指導している。

以上により、上記教育目的が達成されているものと判断している。

2. 本学部では、道元禅師の禅の精神に基づく健全な自己と豊かな精神性の確立、行動と知識の一体性、実践と理論の相即性の確立を目標として掲げている。この目的を達成するために、必修科目である「仏教学Ⅰ」および「仏教学Ⅱ」の講義において、上記目的を基礎から習得させている。また、ほぼ毎週月曜日の昼休みに実施している「学燈会(かくとうえ)」によって、禅の精神を理解させるよう努めている。この「学燈会」の内容は毎年冊子としてまとめ、全学生に配付している。さらに、毎年12月1日から8日まで「摂心会(せっしんえ)」という早朝坐禅会も行っており、禅の精神を学ぶための機会となっている。この坐禅会には、本学部専任教員が積極的に参加するとともに、学生の積極的な参加を奨励している。

以上により、目的はほぼ達成されていると判断している。特に「仏教学Ⅰ」および「仏教学Ⅱ」の講義は、現在までのところ不可の判定を受ける学生もなく、全員が単位を取得しているため、上記目的は正しく理解されているものと判断される。一方、「学燈会」ならびに「摂心会」については、皆勤する学生もいる半面、参加に消極的な学生もおり、今後さらに教育効果を高める余地が残されていると考える。

3. 本学部では心のケアに関わる授業科目として「臨床心理学Ⅰ」ならびに「臨床心理学Ⅱ」を開講して、「心」の健康という観点から、栄養教育や栄養指導、食に関わるカウンセリング等を行うことができる管理栄養士を養成しようとしている。この目的を効率よく達成できるよう、昨年度までに「臨床心理学」を担当する兼任教員と、「栄養教育論」や「臨床栄養学」などの専門科目を担当する専任教員との間で連携を図り、用いるテキストや教育内容についての意見交換を行ってきた。これを土台として、本年度は「臨床栄養学」の講義内容に、実際の栄養指導やカウンセリングに即した教育内容を盛り込んで教育を行った。これにより、学生が「臨床心理学」で学んだ内容を、栄養指導や栄養カウンセリングを通じた健康管理に応用できるよう配慮しており、一定の効果を上げているものと判断している。

この目的が適切に達成されているか否かを客観的に判定することは難しいが、今後本学部の卒業生が管理栄養士として就職した後に、現場における評価によって判定を行いたい。また、この現場における評価を今後の教育にフィードバックしていく予定である。

4. 各年の入学者数は、学部の新設年度である平成21年度は入学定員の70%に当たる56名のみであったが、平成22年度、平成23年度ならびに平成24年度はそれぞれ80名、83名および84名と、ほぼ入学定員の80名前後で推移している。また受験志願者数も、初年度は97名と非常に低い値であったが、平成22年度は372名、平成23年度は484名、また平成24年度は398名と、安定した高い値を保っている。このことは、本学部の設置の趣旨・目的が、社会のニーズに合致していることを示唆している。

また、平成21年度から平成23年度までの年間退学者数は、1学年当たり0.83人と比較的少ない。このことは、本学部の教育が適正に行われており、在学生の満足度が高いことを示す状況証拠として挙げられる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成25年4月末公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定(平成25年4月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成24年度に評価機関（財団法人 大学基準協会）の評価を受けるため、点検評価報告書を提出済み

（注）・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成24年 8月 31日)

駒沢女子大学点検・評価・改善委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、学校教育法第69条の3及び大学設置基準第2条の規定に基づき、駒沢女子大学の自己点検・評価・改善を行うための、「駒沢女子大学点検・評価・改善委員会」（以下「委員会」という。）に関する事項について定める。

(審議事項)

第2条 委員会は、次の各号に定める事項について、審議する。

- (1) 自己点検・評価報告書の作成と認証機関への提出
- (2) 自己点検・評価報告書に基づく改善計画の策定
- (3) その他、教育・研究活動に関して委員会が必要と認めた事項

(担当)

第3条 前条の事項を円滑に処理するため、委員会に次の担当を置く。

- (1) 教育
- (2) 研究
- (3) 施設・設備
- (4) 管理・運営
- (5) 入学・就職
- (6) 総括

2 各担当の責任者は委員長が指名する。

(構成)

第4条 委員会は、次の各号に掲げる委員によって構成する。

- (1) 各学部長
- (2) 各学科主任
- (3) 各教授会より選出された若干名の委員

2 前項第1号及び第2号の委員はその職にある期間を任期とする。

3 第1項第3号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員の互選により委員長を選出する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が必要に応じこれを招集し、会議の議長となる。

- 2 委員の3分の1以上の要請があったとき、委員長は委員会を招集しなければならない。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する者がこれに代わる。

(定足数)

第6条 委員会は、3分の2の委員の出席をもって成立する。

(意見聴取)

第7条 委員会はその職務に関係のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(議決)

第8条 委員会は、出席者の過半数により、議決する。

- 2 可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教育・研究支援室が行う。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会が行う。

附 則

この規程は、平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成14年10月3日に改正し、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、「駒沢女子大学自己評価委員会規程」を全面的に改正したものとして、平成16年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年2月23日に改正し、平成21年4月1日から施行する。